



竹内滋泰  
市政クラブ

蒲郡市シルバー人材  
センターの現況と課題

**問** 市が補助額を抑えていた経緯を伺う。

**答** 令和2年度までは補助額を1050万円としていたが、3年度の予算編成時に、高齢者施策の重要性を鑑み、補助額を1300万円へ、5年度より1500万円へ引き上げた。今後も積極的な支援を考えた。

**問** 市の施策に積極的にシルバー人材を活用することについて伺う。

**答** 現在は公園の草刈り・清掃のほか、園児が使用するおもちゃ等の消毒、家事支援、生活困窮世帯の子供を対象とした学習支援等を委託している。

今後も市の施策を応援してもらえる場を提供できるよう注力していきたい。

健康寿命の延伸  
について

**問** 健康がまごおり21第2次計画の評価結果について伺う。

**答** 本市の課題であったメタボ対策等に力を入れた。健康づくり意識の向上や地域コミュニティの醸成、医療連携等による健康づくり推進の基盤が育成されたと認識している。

**問** 関係機関との連携について考えを伺う。

**答** これまで計画をもとに進めてきた「健康づくりいっしょにやろまい会」をはじめ、今後は市民や地区単位での実践可能な健康づくり計画を策定したい。



健康がまごおり 21 第2次計画



牧野泰広  
自由クラブ

清田の大クスの  
クスサン対応について

**問** 来年度以降についてはどのような対策をとる予定か。

**答** 来年度以降も3年程度は、幼虫を対象とした薬剤散布作業を実施する必要がある。中長期的な管理体制を整えるため、清田の大クス保存活用計画を策定する予定である。

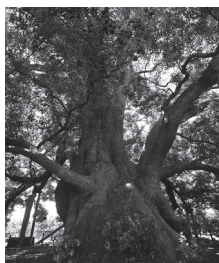
**問** 今後数年はこの対策に取り組んでいく必要がある。大クスの保全のために国や県の財政的な支援はないか。

**答** 文化庁の補助金に「天然記念物再生事業費国庫補助」があるが、来年度については5月で終了しているため、再来年度こちらの申請について検討していく。

地区個別計画の  
見直し検討について

**問** 建設物価の高騰など、社会状況も大きく変わっている。現在の計画にとらわれず、地区個別計画の見直しを検討するべきではないか。

**答** 建設物価の上昇については、施設規模や建物仕様のさらなる精査、既存建物の活用検討などにより、コストの抑制に努めていく。現時点において、直ちに計画を見直すことは考えていないが、社会状況の変化や、人口動態や児童・生徒数の見込み、保育ニーズの状況、市の財政状況などの変化を注視し、見直しについては今後適切に判断していく。



清田の大クス



日恵野佳代  
無会派・日本共産党

エネルギー効率の  
高い建築物について

**問** 蒲郡市地球温暖化対策実行計画では、公共施設の新築や改築の際は、高断熱ガラス二重サッシ化やZEB化などを検討するとある。西浦と塩津の学校複合施設や文化広場の対策について伺う。

**答** 西浦及び塩津地区学校複合施設では、ZEBレディの認証を取得しており、断熱効果は高い。文化広場では、熱線をはね返す遮熱材を屋根面と壁に施工し、省エネ化を図っている。

市民が安心できる  
食の確保について

**問** 学校給食費について無償化する自治体が増えている。県に半額支援及び国への支援を求めているかがか。

**答** 学校給食費の無償

化は、子供を育てる環境の大事な政策の一つであると認識している。政府の動向を注視しつつ、県と相談をしたいと思っている。

災害対策について

**問** 8月27日の土砂災害について、避難場所の塩津公民館の避難者は4世帯9人と、少ないのでは。周知方法と食事やプライバシー保護などの対応状況は。

**答** 拡声器を搭載した車両での広報を行い周知をした。食事として、市備蓄のライスクッキーなどを配布したが、入浴、パーテーション等は用意していない。

